



【写真】 済生会フェアでのことみちゃん

新年のご挨拶	2
健診・人間ドック部門紹介	3
冬に負けない身体づくりレシピ	3
インフルエンザのアウトブレイクを起こさないための感染対策	4
第1回済生会フェア開催	5
実地医家に基づく糖尿病・循環器勉強会	6
院内の取り組み報告	7
連携医療機関のご紹介	8
ホットライン	9
外来医師担当表	10

【香川県済生会病院の理念】

患者さまのために、地域のために、そして職員のために存在する病院

【基本方針】

1. 思いやりを持って患者さまに尽くし、患者さまから信頼される病院となります
2. 地域に根差し、地域の一員として認知、信頼される病院となります
3. 高齢者医療、地域医療、がん医療、急性期医療、そして予防医療をリードする病院となります
4. 常に変革を行い、またその能力を持つ病院となります
5. 研究心、向上心を持ち、活力にあふれる病院となります
6. 職員の働く環境の良い病院となります。





ご挨拶

院長 若林 久男



皆さんは私たちの病院の歴史についてはご存知でしょうか。済生会組織は、明治44年に明治天皇の「恵まれない人たちに施薬救療の済生の道を広めるように」という、いわゆる済生勅語を基に設立され今年で創立107年になります。それでは当院はいつ創立されたか。実はその起源については資料が離散して、なかなか特定するのが難しいのです。

明治44年ごろ県の西部、今の普通寺あたりで活動をしていたようなのですが、裏付ける資料ははっきりしません。もしそうなら、済生会の中でも有数に歴史の古い、伝統ある支部かもしれないので少し残念です。はっきりしているのは、桜町の旧病院の場所で診療所を開設したのが昭和18年4月26日という事です。そこで、この時点を目安に当院の起源とすることにしました。今年で75年になります。

その後、平成16年に旧病院からこの多肥の地に新築移転してきました。旧病院のころには、やや慢性期系の病院でしたが、移転後には若い急性期志向のやる気のある医師たちの赴任に伴い、医療機能は急性期病院へと大きく変わってきました。例えば手術症例数ですが、年々手術数は一度も減少することなく増え続け、今年度も最高値の更新となるようです。病院の機能は、私たち自身が大きく変えてきました。私たちの病院はこの高松市南部地域の中核的急性期病院として立っていくとした目標を掲げ、それに向けて病院機能評価機構を受査し、DPC病院となり職員の育成を行い皆で切磋琢磨してきました。救急患者の受け入れも積極的に行い、地域の中で頼りになる病院としての評判と信頼を得るようになりました。

しかし、ここで外部環境が大きく変化しています。一つは、大きな社会の流れで2025年問題という言葉で表される本格的高齢化社会に向けてのいろいろな変化です。人口が減り、高齢者は増える。今の7対1基準の急性期病床ばかりの医療提供体制ではとても支えきれないので、地域医療構想で病院機能分化が推進され、主として急性期病床の調整が行われます。名ばかりの急性期病床は今後削減されます。病院は淘汰の時代に来ました。本当に地域の中で求められる、患者さんに支持される病院でなければ生き残っていけない時代となりました。私たちは地域の中で何を期待されているのか、そしてそれをちゃんと皆が満足するレベルで提供できているのか、それを自分たちで理解し努力しない病院は、今後縮小もしくは廃業せざるを得ない状況が来ています。

そして、今年市民病院が仏生山に移転してきます。同じような規模、同じように急性期。当院にもある程度の影響は必ずあると思います。これを私たちにとってのリスクと取るか、あるいはチャンスと取るか。私の好きな言葉に某会社の社訓があります。「チャンスは、ピンチの顔をしてやってくる」というものです。ものすごい危機、ピンチが到来した時も、そのピンチを工夫して努力して乗り切った先には、必ず次の発展につながるヒントが隠されているというものです。市民病院が来るという事実、人口動態の変化など変わりようのない近未来、それに直面する私たちは変わらなければならない時が来ていると思います。

さて、問題はどうか変わるのかという事です。市民病院が来た時の影響は不透明です。ただ、原則は変わりません。地域の中で必要とされる病院であり続けることです。患者さんから必要とされる病院であることです。そのために今年は、圧倒的的患者満足度を目指そうと職員に話をしています。患者さんや家族も驚くような、圧倒的な患者満足度。患者さんを満足させるにはいろいろな視点があると思います。そもそもの手術や内視鏡の技術のような提供する医療のレベルや看護のレベル、外来窓口や病棟での日常の業務の接遇や給食の味など、病院業務のあらゆる場面で患者さんの満足に直結します。では何をすればよいのか、それは私のそして職員それぞれの心の中にあると思います。もし自分や家族が患者だったらどうしてほしいか。病院に求めることは何か。自分たちは心の中で知っているはず。判断できるはず。今年はずいぶんそれを表に出して、声に出して行動してみようと職員に話をしています。

市民病院が来ることをひとつの機会、チャンスととらえ、自分たちを変えていく。患者さんから支持される病院であるためにどう変わっていくのか。基本的なことは、自分が患者だったらという視点です。私たちはこれからも患者さんの満足のできる医療の提供を目指して努力していきます。今年もよろしくお願いします。



健診・人間ドック部門紹介

健診・人間ドック部門では、「丁寧な対応」をモットーとし、スタッフが日々業務に勤めております。

ご高齢の方や初めて来院される方でも安心してスムーズに検査を受けられるよう、スタッフが付き添い検査へ案内しています。施設全体がバリアフリーとなっているため、車いすの方も問題なく検査を受けられます。

人間ドックを受診される方については、受診当日に結果が判明している検査項目について、医師の診察時に結果の説明を行っております。

お申し込み・お問い合わせについては、2階健診室もしくは電話でも対応しておりますので、ご自身の健康状態が気になる方や人間ドック受診を希望される方は一度ご相談ください。



医師の診断が必要な「要受診」や、さらに詳しい検査が必要な「要精査」の場合、身体からの大切なサインと考え、ぜひ一度外来受診をおすすめします。



冬に負けない身体作りレシピ

栄養士 奥田 英津子

★作り方

- ① じゃがいもを茹でてつぶす。
- ② 大豆のお肉はしっかり水分をしぼる。
- ③ ミンチと玉ねぎを炒めて冷ましておく。
- ④ ①②③とスキムミルク・コンソメ・塩・こしょうを入れてよくかき混ぜ、適当な大きさに丸める。
- ⑤ ④に小麦粉・たまご・パン粉の順番でまぶし、油で揚げる。



ポテトコロッケ (調理時間30分)

★材料(2人分)

じゃがいも	140 g	パン粉	10 g
ミンチ	20 g	油	30 g
玉ねぎ	40 g	トマトケチャップ	20 g
大豆のお肉	40 g	ウスターソース	10 g
スキムミルク	20 g		
コンソメ	0.6 g		
塩	適宜		
こしょう	適宜		
小麦粉	20 g		
たまご	20 g		

★栄養成分(1人分)

エネルギー	356kcal
たんぱく質	12.6g
脂質	17.4g
食塩相当量	1.2g

ミンチの量を減らして代わりに”大豆のお肉”を使用することで脂質を抑えヘルシーに。またスキムミルクを入れるとカルシウムUP！味もまろやかになります。



インフルエンザのアウトブレイクを 起こさないための感染対策



インフルエンザは、院内でアウトブレイクを起こしやすい感染症の1つです。市中でインフルエンザが流行する前から備えておくことが大切で、「院内に持ち込まない」「院内で拡げない」対策を行います。

●職員の対策

職員は、出勤したらまず手洗いを行います。外からの持込みを防ぐためです。また、体調が悪い時は出勤せずに近医を受診し、異常があれば職場へ電話連絡します。

家族内でのインフルエンザの発生も上司に報告し、自分が濃厚接触している可能性を踏まえ、潜伏期間中（インフルエンザは1～3日）はマスクを着用して勤務にあたります。これは、インフルエンザに感染している場合に、発症前の潜伏期間中でも感染性があって、周囲へ移してしまうことがあるからです。

インフルエンザ発症後は、診断投薬開始後もウィルスを排出している可能性があるため、決められた期間の出勤停止とし、症状がなくなるまでマスク着用を守りましょう。

●入院患者さん対策

エレベーターや階段扉などには「1階外来エリアへ行くときは、マスクをしましょう」、病室入り口には「病室に戻ったら、手を消毒しましょう」などと表示し、入院患者さんが病棟外で感染しないようマスク着用と手指衛生を励行します。

また、長期入院や易感染状態の患者さんには、ワクチン接種を推奨します。当院の例では、療養病床、透析部門、化学療法部門の患者さんがその対象になります。今年はインフルエンザワクチンの入荷に時間を要し12月中には必要数の確保ができるとの見込みでしたが、ワクチン接種の時期が遅れてしまったために不安を感じて過ごしている方も多くいることとお察しします。ワクチン接種は通常11月中の接種を推奨しますが、それまでに接種できなかった場合でも流行中の接種をしておきましょう。

●面会者対策



面会者用に「ご面会の方へ 手を消毒し、マスクを着けてから、面会をしてください」「体調の悪い方の面会のご遠慮ください」などとエレベーターや病棟入り口などに掲示し、外からの持込み対策を行います。また、同時にマスク廃棄用のごみ箱を設置しておくとういと思います。

●入院患者が発症したら

個室に隔離し飛沫予防策を行います。大部屋で発症した場合、同室者には抗インフルエンザ薬の予防投与を検討します。複数の病室から発症者が出た場合は、病棟全体の抗インフルエンザ薬の予防内服を検討します。医療従事者は、ワクチン接種をしている場合、予防投与は原則不要です。

そして環境消毒を実施しましょう。環境中に付着しているウィルス量を減らしておく、手にウィルスが付着して感染が拡大するのを防ぐことに繋がります。

●正しいマスクの着け方



第1回済生会フェア開催！！

当院初となる済生会フェアが平成29年9月23日（土）に行われました。なでしこ祭りと同時に開催で行われた今回の済生会フェア。事前に雑誌Komachiやたかまつ市の広報誌、テレビでの告知などの効果もあり、多くの方にご来場いただきました。

特別講演として済生会本部理事長の炭谷 茂氏に「明日に向けた済生会の挑戦」、教育評論家の尾木 直樹氏（尾木ママ）に「尾木ママ流凹まない生き方論～ありのままに今を輝く～」と題し、ご講演いただきました。ミニ電車コーナーでは琴電からことちゃん&ことみちゃんが来られ、子供たちに囲まれ大人気でした。医療体験コーナーでは、実際の手術室で腹腔鏡手術体験や救急隊の心肺蘇生訓練、医師や看護師の白衣を着て写真撮影ができるコスプレ体験など、参加された皆さん興味津々で満足いただけたようでした。当日はおかげさまで約1,500人の来場者でにぎわいました。

また、来年の開催に向けて職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



実地医家に基づく

糖尿病・循環器勉強会



平成29年12月4日（月）リーガホテルゼスト高松におきまして、糖尿病、循環器疾患とその合併症における最新の話題を提供することを目的に、「実地医家に基づく糖尿病・循環器勉強会」を開催いたしました。

特別講演では、済生会松山病院 循環器内科 副院長 渡辺浩毅先生を座長にお迎えし、当院 循環器内科部長 斧田尚樹先生に「循環器医が考えるこれからの糖尿病管理」を題目にご講演いただきました。

後半では、司会を当院 循環器内科部長 斧田尚樹先生に、パネリストとして当院 消化器内科 副院長 尾立磨琴先生、当院 糖尿病内科部長 西川和良先生、みつ内科・ハートクリニック 院長 藤村光則先生に、オブザーバーとして済生会松山病院 循環器内科副院長 渡辺浩毅先生をお迎えし「専門医から見たSGLT2阻害薬の使い方のコツ」を題目にパーソナルディスカッションを行いました。

今回の勉強会には、地域の医療機関の先生方、看護師、コメディカルスタッフ総勢35名にご出席いただきました。特別講演、パーソナルディスカッション共に、ご参加いただいた先生方からも質問があり、地域の先生方と有意義な意見交換ができ、大盛況のうちに終えることができました。今後も多くの方々と自由に意見交換できる場として気軽にお越しいただける環境を提供できればと考えております。お忙しい中、ご参加くださいました先生方ありがとうございました。今後もこのような会を通じて地域の先生方と密な連携を図り、より良い医療を提供できるように努めて参ります。



院内の取り組み報告

接 遇 研 修

東京ディズニーランドに15年勤めた、「接客向上委員会&Peace」代表の石坂秀己氏を講師にお招きし、院内研修、院外講演を開催しました。連携医療機関だけでなく施設、企業、学校関係、そして一般の方もお招きし、「ディズニーランドが教えてくれたみんなが笑顔で働ける習慣」と題し開催しました。「笑顔で働くポイント」を中心に、石坂氏の体験談やディズニーランドの裏側の話を交えながら話し、笑顔溢れる講演会となりました。

今回学んだことをとおして、まずは職員である私たちが笑顔で働けるよう心掛けようと思います。



秋 の 黄 昏

コ ン サ ー ト

フランスから来日されたチェロとピアノのスペシャルデュオ「スタン・デュゲ & チボー・ルヴェル」のお二人をお招きし、秋の黄昏コンサートを行いました。カミーユ・サン＝サーンスの「白鳥」、ガブリエル・フォーレの「夢のあとに」などの心地よい音色に、患者さん職員は聞き入った様子でした。

スタンさんは、奥様が徳島の出身という縁で、毎年、徳島で演奏会をしています。その関係者と当院の職員が知り合いだったことから今回のコンサートが実現しました。



消 防 訓 練

高松南消防署と合同で防災訓練を行いました。病棟で火災が発生したことを想定し、災害対策本部を立ち上げ、職員が患者役で実際に車椅子や担架で救出する本格的な訓練でした。トリアージという災害医療等で、大事故、大規模災害など多数の傷病者が発生した際の救命の順序を決めるための標準化が図られて分類も行いました。

南海トラフ地震がいつ起こるか分からない今、万が一に備えて常に私たちは訓練を重ねています。



ク リ ス マ ス

コ ン サ ー ト

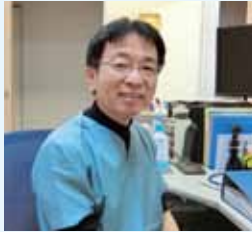
12月21日（木）、クリスマスコンサートを開催しました。ヨーロッパ・アルプス地方の民族楽器であるチターを演奏してくれた「内藤チターアカデミー」、子供たちが可愛いダンスを披露してくれた「Beginners Dance Club」、当院の職員で構成された「済生会シンフォニー」がクリスマスソングを披露しました。素敵な音色、ダンス、歌声で会場は盛り上がり、楽しい一時となりました。



連携医療機関のご紹介



あきた小児科クリニック



院長：秋田 裕司先生

【診療科】

小児科、アレルギー科、小児循環器内科

外来受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○
14:30～15:45 要予約	乳児 検診	予防 接種	乳児 検診	—	予防 接種	心臓 要予約 17時迄
16:00～18:15	○	○	★	—	○	—

※木曜日午後、日曜日・祝日は休診。

★水曜日16時～は予防接種専用時間（要予約）



【コメント】

病気の治療や予防だけでなく、からだも心も癒やせる小児科を目指します。

【住所・連絡先】

〒761-0303 香川県高松市六条町605-5

TEL：(087) 868-6000 FAX：(087) 868-6731

あきやまクリニック



院長：高橋 則尋先生

【診療科】

内科、泌尿器科、人工透析、腎臓内科

外来受付時間	月	火	水	木	金	土
午前(9:00～13:00) 全科	○	○	○	○	○	○
午後(15:00～18:00) 内科	○	○	○	○	○	—
午後(15:00～18:00) 泌尿器科	—	○	○	—	○	—
午後(15:00～18:00) 腎臓内科	○	—	○	○	○	—

【コメント】

高松市南部の自然あふれる旧園風景の中にあります。患者様の笑顔と癒しを大切にするクリニックです。内科、泌尿器科、人工透析、腎臓内科治療を地域に提供しています。

【住所・連絡先】

〒761-1701 香川県高松市香川町大野459-5

TEL：(087) 815-8588 FAX：(087) 815-8688



香川県済生会病院

緊急専用ホットラインの対応時間を
延長しました

消化器内視鏡専用
循環器科専用

087-868-9539

087-868-9526

対応時間：月～金 8：30～18：30（土・日・祝日を除く）

※この番号は医療機関からの専用番号であり、患者様個人からの電話は受け付けておりません。

香川県済生会病院 内視鏡内科・循環器内科では連携していただいている諸先生方や患者様との迅速・緊密な連携を目指し、平日専用ホットラインを開設しております。

内視鏡内科

- 吐血、下血
- 黄疸
- イレウス

循環器内科 (カテーテル治療)

胸痛、心不全、不整脈など
循環器科疾患全般

上記のような患者さんがおられましたら、専門医師が直接対応致します。



香川県済生会病院 外来医師担当表

◎休診日：土曜日、日曜日、年末年始

H30. 2. 1現在

				月	火	水	木	金	備考	
第0外来	循環器科	午前	1 診	斧田	紹介のみ 手術 (カテーテル)	斧田	野間/萬谷 (隔週) 予約外要確認	斧田	・午後と火曜日と木曜日の外来は要確認 ・学校健診は中学生以上。月・金午前9:00～11:00要予約。	
			2 診	和泉			和泉			
		午後 14:30～ ※予約外受付は 16:00まで	1 診	紹介のみ 手術 (カテーテル)	紹介のみ 手術 (カテーテル)	紹介のみ 手術 (カテーテル)	紹介のみ	紹介のみ		
	皮膚科	午 前				窪田教授 (第3・5)		・月曜日は14:00より診察 ・水曜日は9:00より診察		
		午 後	森上 (毎週)							
第1外来	総合内科	午 前		担当医	國土	担当医	今滝	担当医	・午前中のみ 午後は休診	
	内科(専門)	午前	0 診				井町 (糖尿病)		・井町医師は木曜日午前 ・尾崎医師は木曜日午前(隔週) ・正木教授は第3・第4金曜日午前 (電話にてご確認下さい) ・檀上医師は第2・4火曜日午前 ・内科専門診は予約および紹介のみ	
			1 診	小路 (腎・透析)	小路 (腎・透析)	小路 (腎・透析)	尾崎 (腎臓内科)			
			2 診	西川 (糖尿病)		角(消化器) ピロリ外来 肝炎外来		西川 (糖尿病)		
			3 診	小塚(消化器) ピロリ外来 肝炎外来	檀上(精神科) もの忘れ外来			尾立(消化器) ピロリ外来 肝炎外来		
			5 診		河野(消化器) ピロリ外来 肝炎外来			肝臓内科 正木教授(紹介予約制)		
		午後	0 診							
			1 診	小路 (漢方内科・予約のみ)	小路 (腎・透析)	小路 (腎・透析)				
			2 診		西川 (糖尿病)					
			3 診				西川 (糖尿病)			
			5 診	高野(消化器) ピロリ外来						
	泌尿器科	午 前		尾木	菅本	菅本/尾木	尾木	菅本	・第1,3,5週水曜日は 菅本医師 ・第2,4週水曜日は 尾木医師	
		午 後	手術/予約検査	手術/予約検査	予約検査	予約検査	手術/予約検査			
	第2外来	小児科	午前		岸本 (予約のみ)	岸本	岸本	岸本	予防接種、乳児検診は予約制 【予防接種】 月～木曜日 14:00～15:00 【乳児検診】 金曜日 14:00～15:00 ・小西Drの診察は第4火曜日の 午後のみ	
					岩城	岩城	岩城	岩城 (腎臓予約のみ)		岩城
					澁谷					
			午後	14:00～15:00 予防接種・乳児検診	予防接種	予防接種	予防接種	予防接種		乳児検診
				予防接種	予防接種	予防接種	予防接種	乳児検診		
15:00～16:00				岸本	岸本	岸本	岸本	岸本		
		岩城		岩城	岩城	岩城	岩城			
		澁谷	小西 (第4)			岡田				
眼科		午 前	杉田	手 術 予約検査	杉田	杉田	杉田	・杉田医師の木・金曜日の外来は 予約をお取りすることができませ ん。		
		午後	森下	予約のみ	森下	杉田 森下	森下			
婦人科		午前	神余	神余	神余	神余	神余	・月曜日の午後は15:00まで。		
		午後	神余	神余	手術	神余	神余			
第3外来	外科	午前	1 診	岡本	石村	若林 [※]	岡本	石村	・辻教授は第4・5水曜日の午後のみ ・大北医師は第1・2・3水曜日の午 後のみ	
			2 診	上村	若林 [※]		上村	若林 [※]		
		午後	1 診	若林 [※]	手術	岡田(脳外科)	手術	手術		
			2 診		担当医	辻教授/大北 (腫瘍内科)	担当医	張(呼吸器外科)		
	整形外科	午 前		杉田(予約のみ)	中溝 (予約優先) 大森 堀江 岡	中溝	手術	中溝		
				中溝		亀山		堀江		
				亀山	手術	杉田 (予約のみ)		杉田(予約のみ)		
				堀江		岡		亀山(リハ・診・予約)		
午 後	手 術	手 術	手 術	手 術	手術					
	リハビリ診(午前)	岡		堀江		亀山				
麻酔科	午 前			北村	北村	北村	手術	・午前外来は10:00～12:00まで ・診察場所は2階手術説明室 ・術前外来のみ		
	午 後			手術	手術	手術	手術			



★診療受付時間

(月～金曜日) 午前 8:30～11:30
午後 1:30～4:00

★休診日

土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始

院内広報誌 オリーブだより 第29号

平成 30 年 2 月 1 日

発行者 若林久男

編集 広報委員会

発行 香川県済生会病院

〒761-8076 高松市多肥上町1331-1

TEL 087-868-1551 FAX 087-868-9733

ホームページ <http://www.saiseikai-kagawa.jp>